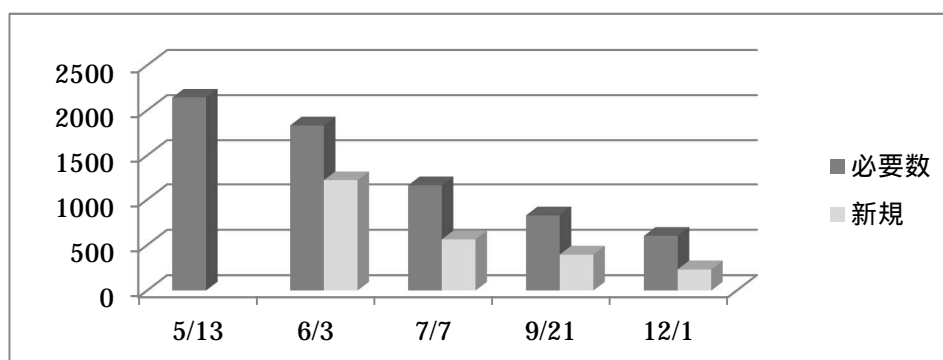


平成28年熊本地震に伴うカウンセリングが必要な児童生徒数について
(第5回学校調査結果)

- 1 調査方法 各学校において「心とからだの健康観察」調査や子どもの様子などを通し、熊本地震後の子どもたちの心や身体の状態を把握して、カウンセリングが必要と判断した子どもの数を集計。
- 2 調査期間 平成28年11月11日(金)～12月1日(木)
- 3 対象 市立小中学校の全児童生徒 61,039人
- 4 調査結果 カウンセリングが必要な児童生徒数 602人(全体の約1.0%)
うち、新たにカウンセリングが必要となった児童生徒数 233人

【これまでの調査結果の推移】

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
実施日	5/13	6/3	7/7	9/21	12/1
必要数(人)	2,143	1,834	1,159	828	602
新規(人)		1,215	563	396	233



5 スクールカウンセラーの配置について

期間	対象校	カウンセラー
学校再開後	すべての中学校区	本市 SC、学校心理士会の協力有
5/16(月)～5/18(水)	必要な児童生徒の多い学校(29校)を重点的に	九州管内臨床心理士会のカウンセラーを含め27人が活動
5/23(月)～7/22(金)	全ての中学校区	本市 SC、日本臨床心理士会のカウンセラー 毎週31～32人
8/29(月)～10/7(金)	必要性の高い学校58校(小43校、中15校)	本市 SC、日本臨床心理士会のカウンセラー 毎週15人
10/17(月)～12/16(金)	必要性の高い学校51校(小42校、中9校)	本市 SC、日本臨床心理士会のカウンセラー 毎週4～9人

カウンセラーの配置に当たっては熊本県臨床心理士会に相談。複数回にわたって協議。

6/29(水)子どもの心のケア推進会議(小中校長2人、養護教諭2人、SC2人)

7/4(金)熊本市スクールカウンセラー連絡協議会を開催。意見等を踏まえて配置検討。

12/21(水)第2回子どもの心のケア推進会議開催予定

【今後の配置】

1/16(月)～3/10(金)	必要性の高い学校	本市 SC、日本臨床心理士会のカウンセラー 毎週5人
-----------------	----------	----------------------------